

2019年度事業報告

2019年4月1日～2020年3月31日

2019年度は、100周年記念事業のテーマ「新しい地平へ」の目玉事業である「未来創生プロジェクト」と初代会長片岡安の名を冠した「片岡安賞」日本建築協会論考コンクールをはじめ、他団体や協会以外の活動との連携も積極的に行い活動のリンケージを広げるとともに、従来から実施している「建築と社会」誌の発行、講演会の開催、見学会や顕彰事業の実施、刊行物の発行などに取り組んだ。

論考コンクールは、今までテーマの選定などは審査委員会で行ってきたが、運営と審査の役割を明確にするため、新たに運営を行う実行委員会を立ち上げた。長年の懸案であった「建築と社会」誌のアーカイブについては、この3月に会員に会員番号とパスワードを通知し4月から運用を開始した。今年度早急に解決しなければならない課題も見えてきた。協会の柱である「建築と社会」誌は、会誌収入が落ち込んだことから、会誌のあり方や魅力付けなど、あらゆる角度から検証する「会誌活性化ワーキンググループ」を立ち上げた。来年度中に提言をいただく予定である。

3月以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各種会議、委員会、研究会などは3密を避けメールでの意見交換や席間を広く空けるなど工夫し拡大防止に努めた。今後も状況を判断しながら協会の活動を継続していく。

2019年度収支は、会費収入が個人会費の減少を団体会費の増が補い、予算額を上回った。

事業収支は契約約款収益が前年度決算額を大きく上回り、また会誌収支の赤字幅も少し減少したこと等により前年度決算額より改善した。しかし会誌収支の赤字額は他の事業収支に比べ依然大きく、予算額を下回った。

管理費では人件費が前年度決算額、予算額を下回った。その他管理費も予算額を下回り、全体で予算額を下回った。

記念事業収支は、今年度執行した新会員証作成費や新リーフレット作成費用の一部を記念事業積立金から取崩し、2020年4月から運用を開始した「建築と社会」誌アーカイブ公開に係るシステム構築費用一式は2020年度に取り崩すこととした。

I 本 部

◎役員会等の開催状況

1. 総会、理事会、評議員会、常任理事会

定時総会 2019年6月20日(木)

- ①2018年度事業報告・収支決算報告
- ②2019年度事業計画・収支予算計画
- ③役員改選

第1回 通常理事会 2019年6月4日(火)

- ①2018年度事業報告・収支決算報告
- ②2019年度事業計画・収支予算計画
- ③役員改選

第2回 通常理事会 2019年11月20日(水)

- ①2019年度上半期事業執行状況

第1回 臨時理事会 2019年6月20日(木)

- ①会長専任
- ②役付役員選任
- ③常任理事ならびに常設委員長の委嘱
- ④理事の会務分掌

定時評議員会 2019年6月4日(火)

- ①副議長改選
- ②役員推薦

常任理事会 8回開催

- ①理事会提出議案の作成、理事会議決事項の処理
- ②協会の会務執行 など

会長、副会長、常任理事、支部長会議

2019年11月20日(木)

- ①2019年度上半期事業執行状況
- ②意見交換

2. 常設委員会

協会の事業を円滑に遂行するため、5つの常設委員会を設置している。

(1) 編集委員会

会誌「建築と社会」の企画・編集のため、編集委員会を設置し、特集小委員会、作品作風小委員会、広告企画小委員会の3つの小委員会で構成している。

更に特集小委員会は計画分科会(計画系、建築計画系、インテリア・住宅系)と構造分科会、設備分科会、施工材料分科会、法令分科会の5つの分科会に分かれている。編集委員会11回、特集小委員会を48回、作品作風小委員会を7回、広告企画小委員会を11回開催した。

会誌収支は広告の減少や作品作風の作品数の伸び悩みなどにより会誌収入が落ち込んでいる。このため、会誌のあり方や魅力付け、編集委員会のあり方など様々な角度から検討する「会誌活性化ワーキンググループ」を11月19日(火)に立ち上げ、第1回目の意見交換を行った。

(2) 事業委員会

見学会や講演会、研修会などを企画する情報見学小委員会を7回開催し見学会を2回、講演会を1回実施した。

(3) 出版委員会

建築に関する図書の企画・編集・刊行を行うため、11回開催し講演会を2回開いた。協会の企画本「一発で通す! 確認申請」は、大阪府建築士事務所協会主催の春と秋のセミナーでテキストとして採用された。

(4) 教育委員会

建築工実務講習会の実施のため講習会小委員会、工高生のデザインコンクールを開くための工高生教育小委員会、「再読 関西の建築」を企画・編集するための史料研究会を運営している。工高生教育小委員会3回、講習会小委員会を3回開催した。

史料研究会を6回開催し、過去に「建築と社会」誌に掲載した「再読 関西の近代建築」及び「再読関西近代建築—論考・記事編」で扱えなかった建築や再発見が待たれる建築などを紹介する「再読 関西の建築」を連載している。

また、大阪府や建築4団体で構成する「大阪府住まい・まちづくり普及協議会」に協力した。

(5) 未来創生プロジェクト

様々な活動を通じて、建築と社会の未来を探り、創り、育てるとともに人材の発掘・育成を目的に、「建築次世代委員会」、「2040委員会」、「U-35委員会」の3つの委員会で構成している。

建築次世代委員会は、建築と社会を担う人材育成に資する活動を創造するため10回開催し、「学生のための現場見学会」を3回実施した。

2040委員会は、日本建築協会が100年にわたり築いてきた歴史の上に、「次世代 (Next Generation)」の想いを集結させ、「次代 (Next Era)」が創造的で魅力的なものとなるべく、これからの「建築と社会」のあるべき姿を思考(志向、試行)することを目的に14回開催し、大学教授や雑誌編集長など様々な分野の方との意見交換会を2回実施した。小冊子「2040 FUTURE VIEW vol.1」を制作し発行した。

U-35委員会は、若手会員の増強と協会活動の活性化を目指し13回実施するとともに、U-35世代の交流の場になる公開型イベントaction「建築とOSAKA」を1回、委員相互の勉強会としてトークパトンを3回開催した。

3. 特別委員会

協会の顕彰事業を円滑に遂行するため、5つの特別委員会を設置している。

(1) 青年技術者選考委員会

設計・計画、構造、設備、施工など建築に関連する分野から満35歳以下の青年技術者を顕彰するため、選考委員会を4月22日(月)に開催した。

(2) 工高生デザインコンクール審査委員会

工高生デザインコンクールは、工高生の設計技能向上のため、1955年(昭和30年)創立以来毎年実施してきた。審査委員会を10月19日(土)に開催し、11月9日(土)に表彰式を行った。

(3) 「建築と社会」賞選考委員会

「建築と社会」誌に掲載された前年の作品、記事の中から社会性、環境などに配慮した建築作品や建築にかかわる論文や記事などを顕彰している。

2018年度で17回を数え、他の賞との差別化やすみ分けなど位置づけ、特徴が課題となっていることから、よりクオリティの高い賞とするため今年度はいったん休止した。

(4) 「片岡安賞」日本建築協会論考コンクール審査委員会

2019年度は100周年記念事業のテーマである「新しい地平へ」を実現するため、論考の発表の場を提供する「片岡安賞」日本建築協会論考コンクール審査委員会を2回開催した。下半期に予定していた公開プレゼンテーションは新型コロナウイルスによる感染拡大を受け、健康、安全面を考慮し中止した。

(5) 「片岡安賞」日本建築協会論考コンクール実行委員会

論考コンクールのテーマ案策定、審査委員選任、公開プレゼンテーションの運営などを行う独立した組織として11月12日(火)に立ち上げ、計4回の会合を重ねた。

◎事業の執行状況

1. 「建築と社会」誌の発行

「建築と社会」誌は、1917年(大正6年)の創立以来協会活動の中核として、会員相互あるいは会員と社会を結び役割を果たしている。毎月発行し会員の手に届けている。2020年3月号で通巻1176号を数える。

発行月	特 集 内 容	特集以外の 主な内容
4月号	建築と社会を繋ぐプロダクション	●作品作風
5月号	建設業2.0 ～価値・意識・生産性～	●gallery ●法令コーナー
6月号	第2回片岡安賞(日本建築協会論考コンクール) テーマ: 建築をつくるひと—これからの姿を問う	●構造・設備の頁 ●再読 関西の建築
7月号	第66回 青年技術者	●建築と社会を考える(4月から再開)
8月号	建築の仮設性と恒久性	●メンバーズフォーラム
9月号	災害。逃げる	●新製品レビュー
10月号	新素材の可能性	●インフォメーションなど
11月号	最先端技術と社会	
12月号	オープンマインドな空間	
1月号	大阪べイエリアの再生	
2月号	第26回会員作品「私の空間作法」	
3月号	東海支部特集	

2. 講演会の開催

話題の建築物や構造物、都市問題など様々なジャンルを対象にエピソードや苦労話、ノウハウなどを聞く講演会を毎年開催している。2019年度は4回開催した。

●出版委員会企画 2019年5月15日(水) 30名
第4回建築セミナー「建築と設備の接点 トラブル予防のツボ」
仲本尚志 馬渡勝昭 赤澤正治

●定時総会記念講演 2019年6月20日(木) 60名
「大阪の地域魅力の向上と発信—「まちづくり+住まいづくり+公共建築づくり」の視点から—」
大阪府都市整備局長 篠原 祥

●出版委員会企画 2019年9月20日(金) 20名
第5回建築セミナー「図解 間取りの処方箋 暮らしから考える住宅設計・改修のポイント」
一級建築士事務所「スマイリズム」 代表 堀野和人

●情報見学小委員会主催 2019年12月20日(金) 85人
JR講演会第2弾 JR西日本建築グループの駅づくり 西日本旅客鉄道(株) 建設工事担当部長 村田直紀

3. 見学会の実施

著名建築物や近代建築などの見学会を毎年実施している。今年度は5回実施した。

●第2回学生のための現場見学会「ザ・パークハウス 神戸タワー (旧ファミリアホール)」現場見学会 2019年6月26日(水) 12名

●追手門学院大学茨木総持キャンパス見学会 2019年6月27日(木) 29名

●第3回学生のための現場見学会「堺東駅南地区第一種市街地再開発事業 施設建築物新築工事」現場見学会 2019年11月19日(火) 21名

●第4回学生のための現場見学会「平城宮跡歴史公園 園第一次大極殿院南門復原整備工事」現場見学会 2019年12月4日(水) 12名

●京都スタジアム(仮称) 見学会 2020年1月28日(火) 42名

4. 建築工実務講習会の開催

1957年(昭和32年)以降、毎年主として中堅以下の建築技術者を対象に標記講習会を実施している。2019年度はテキストを改定し1回実施した。
1月16日(木) 参加者 64人

①施工計画

講師 谷本達哉(株)浅沼組大阪本店建築部品質管理室主任)
永野浩一(株)竹中工務店大阪本店技術部企画管理グループ部長)

②仮設計画

山口紀宏(株)大林組大阪本店建築事業部生産技術部 画第三課長)

5. 顕彰事業の実施

(1) 青年技術者の顕彰

1954年度(昭和29年度)から毎年実施している。今回は39名を顕彰した。顕彰者を称え激励するため、総会後に表彰式を行った。

●設計・計画部門 21名
石黒紘介、菊地健作、岸上和樹、鬼頭朋宏、佐賀淳一、柴崎雅也、白井尚太郎、末重隼人、滝澤創

也、中村篤史、野中広斗、花村和也、広瀬和也、広瀬良太、村田真悟、柳澤 隆、山口佳孝、吉田悠佑、吉本一規、余田尚紀、渡邊有祐

- ・構造部門 6名
河井翔太郎、佐々木淳一、正野和司、中嶋 拓、堀本明伸、三谷 淳
- ・設備部門 7名
今吉 健、古我卓真、迫田裕之、永吉敬行、宮崎亜由美、吉田 淳、吉田裕紀
- ・施工部門 5名
赤尾悟史、荒木秀樹、熊田健太、櫻井勇輔、橋本真彰

(2) 優秀卒業生の表彰

優秀な建築系学科の卒業生を表彰することにより、研鑽意欲の向上を促し、激励するため1952年(昭和27年)から実施している。2019年度は工業高校や専門学校など28校54名を表彰した。

6. コンクールの実施

(1) 工高生デザインコンクールの実施

2019年度で65回を数える。上半期は「2025年のお祭り広場」を設計課題に募集を行い12校97点の応募があり10作品12名を表彰した。

- ・最優秀賞
田中滯梨
- ・優秀賞
鯖戸暖香、長尾柚季
- ・入選
植木ほの香、大澤愛美、坂田 葵、萩原杏菜、藤本らな、藤本隆之介、森田 創・芳野 虎・和田翔樹

(2) 「片岡安賞」日本建築協会論考コンクールの実施
「片岡安賞」日本建築協会論考コンクールは、創立100周年を迎えたのを機に、本会の歴史を見つめ直し、「建築と社会」誌がさらに優れた論考の受け皿となり、建築界全体にとって有益な媒体となることを目的に立ち上げた。上半期は「建築におけるダイバーシティとは」をテーマに募集したところ7点の応募があり、昨年11月27日(水)に第1回審査会を行い最終審査会は3月中に行った。

- ・佳作
拒絶からはじまる人と建築の出会いのデザイン
Experiential Facadeのデザインを通して多様性の受容を再考する
東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻修士2年 石田康平

7. 出版物の刊行

時代のニーズに即した新しい著書の発掘を第一とし、建築に関する図書の企画・編集・刊行を行っており、1949年(昭和24年)以来多くの図書を出版してきた。「建築技術選書」と「プロのノウハウ」シリーズはその代表である。上半期に上梓した「図解 間取りの処方箋」は、発刊後すぐに中国語の翻訳出版が決まるなど海外でも注目を集めている。

8. 「建築と社会」誌のアーカイブ

協会のホームページから会員番号とパスワードを入力して利用できる会員ページを作成し、「建築と社会」誌の創刊号からのバックナンバーを無料で自由に閲覧できるシステムの構築、運用作業を行った。会員に会員番号とパスワードを通知した。

9. 「会員の集いIN TOKYO」の開催

東京で初めて行う企画として、大阪中之島美術館設計者の遠藤克彦氏と近代建築史研究家大阪市立大学准教授倉方俊輔氏のトークセッションと懇親の夕べを4月2日(火)に開催した。東京在住の会員を中心に40名が参加した。

10. エルダー委員会(仮称:令和あまから建築談義)

体力、気力、知力にあふれ経験豊富でまだまだ社会と関わり続けたい60歳以上の会員で構成する「令和あまから建築談義(仮称)」の検討を行った。

11. 建築関係団体等との交流、連携

- (1) 在阪建築4団体との連携
- ・建築関係をはじめとする各団体と交流・連携事業を行う。特に、2009年度から進めてきた関西建築4団体(大阪府建築士会、大阪府建築士事務所協会、日本建築家協会近畿支部、日本建築協会)会長・支部長意見交換会での連携活動を引き続き推進した。
 - ・昨年度4団体から委員を選抜し議論と作業をはじめ、2025万博を視野にさらに世界へ、未来へと発展させるためのまちづくり提言「ARCH I-4 KANSAI提言書」を4月に発表した。その活動のきっかけとしてのシンポジウムを6月4日(火)に開催した。
 - ・提言書の実現に向けて4会協力して行うとともに、当協会でもその一翼を担う事業を協会活動の中で引き続き検討を行った。
 - ・他に在阪建築4団体インターンシップに引き続き協力、参加した。

(2) イケフェス大阪等との連携

上半期は「イケフェス大阪」など建築関係団体以外の団体との連携事業も引き続き取り組むための企画を策定した。まちなみや通りをめぐり、個々の建築や都市の成り立ち、歴史を感じ取る生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2019連携事業スペシャルツアー「日本建築協会Presents! 天王寺の近代遺産と下寺町の台地を歩く」を10月27日(日)に開催した。

(3) 令和2年在阪建築15団体合同新年交礼会の実施
今年度の在阪建築15団体合同新年交礼会を、1月6日(月)にリーガロイヤルホテルにおいて当番会として開催した。参加者は744名となり、過去最大の規模となった。

12. 共催、後援、協賛事業

協会の事業主旨に合致する事業に共催、後援、協賛した。

(1) 共催

- ・大阪都市景観建築賞
大阪府、大阪市、(公社)大阪府建築士会、(一社)大阪府建築士事務所協会、(公社)日本建築家協会近畿支部、(一社)日本建築協会
- ・異業種交流 輝く女性のコミュニケーション力
(公社)日本建築家協会近畿支部

(2) 後援

- ・セミナー「これからの防災教育 専門家が果たすべき役割とは」
(公社)日本建築家協会近畿支部
- ・①京都スタジアム建築技術講習会～設計と施工の担当者が語る、京都スタジアムの新技術～他1件
(公社)大阪府建築士会
- ・木造建築の現状と技術的可能性
(公社)大阪府建築士会
- ・LIVING&DESIGN2019
(一社) L&D
- ・日本福祉のまちづくり学会第22回全国大会
(一社)日本福祉のまちづくり学会
- ・改正民法が建築士業務に与える影響等に関する説明会他1件
(公社)大阪府建築士会
- ・〈建築防災連続セミナー〉「建築火災安全設計の考え方と基礎知識」
(一財)大阪建築防災センター
- ・講習会「木造建築とまちづくり」
(公社)大阪府建築士会
- ・なんばスカイオ建築技術講習会～設計者と施工者が語る「なんば」の新たなランドマーク～
(公社)大阪府建築士会
- ・「ハラスメント問題の基本的理解と発生防止」研修会
(一社)大阪府建築士事務所協会
- ・開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会
(一社)大阪府建築士事務所協会
- ・講習会「秋の京都特別見学会」
(公社)大阪府建築士会
- ・「CLT構造作品見学会+説明会」他3件
(公社)大阪府建築士会
- ・JSCA法人化30周年 関西支部企画「EXPO'70から半世紀、いのち輝く未来へ向けた構造デザイン」
(一社)日本建築構造技術者協会関西支部
- ・なにも建築フェスタ2019年児童画展
(一社)大阪府建築士事務所協会
- ・BIMについて～建築士事務所による実用・活用例
(一社)大阪府建築士事務所協会
- ・卒業展2020
(学校法人) 修成学園
- ・講習会「水害・土砂災害に備える」他1件
(公社)大阪府建築士会
- ・「KIPA IPサロン BIM session-3」
(一社)関西インテリアプランナー協会
- ・オービック御堂筋ビル 現場見学会+講習会～デジタル・ツイン時代の幕開け～
(公社)大阪府建築士会
- ・「設計図書の電子的作成・保存の実務講習会～法令で定められる設計図書の15年保存とは～」
(一社)大阪府建築士事務所協会
- ・建築材料・住宅設備総合展 KENTEN2020
(一社)日本建築材料協会
- ・建築学生ワークショップ東大寺2020
(特定非営利活動法人) アートアンドアーキテクトフェスタ
- ・講習会「限界耐力計算による木造耐震設計レビューと改修事例紹介」
(公社)大阪府建築士会
- ・関西建設人ゴルフ大会
関西建設人ゴルフ大会委員会
- ・環境性能評価システム講習会

(公社)大阪府建築士会

(3) 協賛

- ・2019年度「住生活月間」
住生活月間実行委員会
- ・2019年度(第29回)大阪府公共建築設計コンクール「あすなる夢建築」
大阪府、(公社)大阪府建築士会、大阪府住宅供給公社
- ・建築・建材展2020
㈱日本経済新聞社
- ・セミナー「建築物の瑕疵をめぐる法的問題について」
(公社)ロングライフビル推進協会
- ・Japan Home & Building Show 2020」
(一社)日本能率協会

13. 工事請負契約約款事業

民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款委員会に委員を派遣するとともに、引き続き「民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款契約書関係書式」及び「民間(旧四会)連合協定小規模建築物・設計施工一括用工事請負等契約書類(書式・約款)」、「民間(旧四会)連合協定リフォーム工事請負契約書類(書式・約款)」、「民間(旧四会)連合協定マンション修繕工事請負契約約款 契約書関係書式」を販売した。

約款委員会が発行する4つの約款・書式の説明用パンフレットを販売窓口等で配布し、約款の周知、啓発に努めた。

14. 役員派遣

大阪商工会議所に2号議員として役員1名を派遣した。

(一財)大阪建築防災センターに監事として役員1名を派遣した。

Ⅱ 支 部

〔中国支部〕

◎役員会等の開催状況

1. 総会、常議員会、幹事会の開催

定時総会 2019年5月27日(月)

- ①2018年度事業報告
- ②2018年度収支決算報告及び監査報告
- ③2019年度事業計画(案)
- ④2019年度収支予算(案)
- ⑤役員改選(案)
- ⑥建築施工技術研究委員会活動報告

第1回 常議員会 2019年4月18日(木)

- ①2018年度事業報告
- ②2018年度収支決算報告及び監査報告
- ③2019年度事業計画(案)
- ④2019年度収支予算(案)
- ⑤役員改選(案)
- ⑥建築施工技術研究委員会活動報告
- ⑦2019年度支部総会開催(案)

第1回 幹事会 2019年7月5日(金)

- ①2019年度中国支部総会報告
- ②本部通常理事会・総会・臨時理事会報告
- ③若手・新入社員技術講習会報告
- ④中堅社員技術講習会について
- ⑤中国支部設立70周年について

第2回 幹事会 2019年12月12日(木)

- ①本部通常理事会支部長会報告
- ②2019年度中堅社員技術講習会報告
- ③建築工事实務講習会について
- ④2020年度施工技術研究委員会活動報告
- ⑤中国支部設立70周年について
- ⑥新規入会促進について

第3回 幹事会 2020年3月19日(木)

- ①2019年度建築工事实務講習会報告
- ②2020年度総会・常議員会議・監査について
- ③2019年度決算(案)・2020年度予算(案)について
- ④2020年度施工技術研究委員会活動について(研修スケジュール・研修内容等)
- ⑤70周年記念事業について

◎事業の執行状況

1. 若手・新入社員技術講習会の開催

- 6月12日(水)実施。参加者は39名。
- ①若手・新入社員の心構え
講師：尾野本 悟(広島工業大学教授)
 - ②施工に役立つ力学の再確認
講師：山西 央朗(広島工業大学助教)
 - ③初歩の積算
講師：八道 憲一(鹿島建設㈱中国支店次長)
 - ④準備・仮設工事の工事管理
講師：前嶋 陽志(㈱大林組広島支店建築工事部技術課副課長)
 - ⑤交流会

2. 中堅社員技術講習会の開催

10月2日(水)実施。参加者は29名。

- ① 工程管理のノウハウ
講師：尾野本 悟（広島工業大学教授）
- ② 鉄骨工事の品質管理
講師：貞永 誠（㈱竹中工務店生産統括部技術部長）
- ③ 施工に必要な構造設計の知識
講師：川上 善嗣（広島工業大学准教授）
- ④ 大規模改修のノウハウと新技術
講師：須山 隆文（広島県外壁補修工事業（協組）理事）
沖野 恒己 脇岡 信明

3. 建築工事実務講習会の開催

2月13日(木)実施。参加者は22名。

- ① 施工計画
講師：井上 昇（清水建設㈱広島支店主査）
- ② 仮設見積
講師：尾野本 悟（広島工業大学教授）
- ③ 積算業務
講師：八道 憲一（鹿島建設㈱中国支店次長）

4. 工事請負契約約款事業

「民間（旧四会）連合協定工事請負契約約款契約書関係書式」及び「民間（旧四会）連合協定リフォーム工事請負契約書類（書式・約款）」、「民間（旧四会）連合協定マンション修繕工事請負契約約款 契約書関係書式」を販売した。

〔東海支部〕

◎役員会等の開催状況

1. 総会、常議員会、幹事会の開催

定時総会 2019年5月31日(金)

- ① 2018年度事業報告・収支決算報告
- ② 2019年度事業計画・収支予算計画
- ③ 支部役員改選

第1回 常議員会 幹事会 2019年4月12日(金)

- ① 2018年度事業報告・収支決算見込
- ② 2019年度事業計画・収支予算計画
- ③ 2019年度次期役員構成
- ④ 2019年度総会当日の段取
- ⑤ 本部報告2018年度事業報告
- ⑥ 各常置委員会活動報告

第2回 常議員会 幹事会 2019年5月20日(月)

- ① 2018年定時総会議案
- ② 2019年度次期役員構成
- ③ 2019年度総会当日の段取
- ④ 各常置委員会活動報告

第3回 常議員会 幹事会 2019年5月31日(金)

- ① 2019年度定時支部総会議案書の承認
- ② 総会当日の段取

第4回 常議員会 幹事会 2019年6月26日(水)

- ① 2019年度定時総会収支
- ② 2019年度常置委員会構成
- ③ 各常置委員会活動報告

第5回 常議員会 幹事会 2019年7月23日(火)

- ① 支部復活60周年記念事業
- ② 各常置委員会活動報告

第6回 常議員会 幹事会 2019年8月19日(月)

- ① 支部復活60周年記念事業
- ② 挟み込み広告
- ③ 各常置委員会活動報告

第7回 常議員会 幹事会 2019年9月19日(木)

- ① 会員名簿掲載資料
- ② 支部復活60周年記念事業
- ③ 各常置委員会活動報告

第8回 常議員会 幹事会 2019年10月21日(月)

- ① 上半期事業報告
- ② 支部復活60周年記念事業
- ③ 各常置委員会活動報告

第9回 常議員会 幹事会 2019年11月18日(月)

- ① 支部復活60周年記念事業及び記念誌
- ② 「建築と社会」東海特集号
- ③ 各常置委員会活動報告

第10回 常議員会 幹事会 2019年12月4日(水)

- ① 「建築と社会」東海特集号
- ② 支部復活60周年記念事業及び記念誌
- ③ 各常置委員会活動報告

第11回 常議員会 幹事会 2020年1月20日(月)

- ① 「建築と社会」東海特集号
- ② 支部復活60周年記念事業及び記念誌
- ③ 2020年度事業計画案
- ④ 2019年度決算見込と2020年度予算原案
- ⑤ 常置委員会活動報告

第12回 常議員会 幹事会 2020年2月17日(月)

- ① 支部復活60周年記念事業及び記念誌
- ② 2020年度事業計画
- ③ 2019年度決算見込と2020年度予算
- ④ 各常置委員会活動報告

第13回 常議員会 幹事会 2020年3月9日(月)

- ① 2020年度事業計画
- ② 2019年度決算見込と2020年度予算
- ③ 内部監査
- ④ 2020年度支部役員・委員会構成
- ⑤ 2020年度総会案内
- ⑥ 支部復活60周年記念事業及び記念誌

2. 常置委員会の開催

総務、編集、会員、事業、研修、青年の6つの委員会を設置して支部運営を行っている。

(1) 総務委員会
支部定時総会準備、年度決算及び次年度予算作成並びに支部復活60周年記念事業実施に向けた事前検討等で13回開催した。

(2) 編集委員会
「東海の建築」第87号を8月1日に発刊した。
支部復活60周年記念誌作成に向け「建築ジャーナル社」との打合せを適宜実施した。
「東海の建築」発刊、支部復活60周年記念誌構成、「建築と社会」東海特集号編集内容打合せのため3回開催した。

(3) 会員委員会
会員名簿、広告費用、協賛会社名簿手配・確認のため3回開催した。

(4) 事業委員会
国内建築視察研修旅行等の計画・募集のため2回開催した。

(5) 研修委員会
会員交流イベント、建築工事実務講習会の講師検討・手配、講師等打合せ準備のため4回開催した。

(6) 青年委員会
若手設計者による現地建物等見学及び意見交換会である「納まり倶楽部」を適宜開催。若手による支部活動の活性化を図っている。

◎事業の執行状況

1. 支部機関紙「東海の建築」の発行事業

「東海の建築」第87号執筆。8月1日(木)発行済。
「建築と社会」3月号(東海特集号)を執筆した。
作品作風 12作品 東海スケッチブック 10作品
座談会1：東海支部復活60年とこれからの支部活動 歴代支部長による
座談会2：建築に込める想い 建築技術の発展ベテラン技術者による
座談会3：納まり倶楽部の意義と日本建築協会東海支部への期待
建築がつなぐ都市、地域、まちの記憶「じゅうろくつづめいギャラリー」
納まり倶楽部 東海支部青年委員会における30代若手設計者の活動報告
東海の建築データーシート：内装（おもてなし）4作品

2. 見学会の実施

11月29日(金)～30日(土)「金沢に泊まる 北陸三県 建築の旅」を参加者16名で実施した。

3. 講演会の開催

5月31日(金)の支部定時総会後に開催。
講師：有馬義之氏（㈱東京カンテイ名古屋支店ゼネラルマネージャー）
演題：「新時代の到来における不動産価値と将来性」

4. 建築工事実務講習会の開催

2020年1月22日(水)に名古屋商工会議所にて30名で開催した。

- ① 施工計画
講師：日吉智紀（清水建設名古屋支店）
- ② 仮設見積
講師：相原仁史（大林組名古屋支店）
- ③ 積算業務
講師：木原 陽（竹中工務店名古屋支店）

5. 支部会員名簿の発行

東海支部会員名簿2019年度版を12月に発行した。

6. 納まり倶楽部の実施

7月28日(金)「富山におでかけ！日本初オール木造3階建て学校に学ぶ～魚津市立星の杜小学校～」を開催。

7. 会員交流

5月11日(土)に会員交流ゴルフコンペ第50回記念大会を開催した。
場所：ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場 西コース
参加人数：34名
10月10日(木)に会員交流ゴルフコンペ
12月4日(水)に青年技術者表彰者を招いての交流会

8. 建築関係団体との交流、連携

・建築八団体（愛知建築士会、愛知県建築士事務所協会、日本建築家協会東海支部愛知地域会、日本建築学会東海支部、日本建築構造技術者協会中部支部、日本積算協会東海北陸支部、愛知県設備設

計監理協会、日本建築協会東海支部）連絡協議会に6回出席した。

・中部建築賞協議会に協力し中部建築賞を運営。

〔京都支部〕

◎役員会等の開催状況

1. 総会、役員会、常議員会の開催

定時総会 2019年7月19日(金)

- ① 2018年度事業報告・収支決算報告
- ② 2019・2020年度京都支部役員の選任
- ③ 2019年度事業計画・収支予算計画

第1回 常議員会 2019年4月27日(土)

- ① 2019年度の隔月セミナー等の事業計画
- ② 会員増強
- ③ 京都支部役員改選

第2回 常議員会 2019年5月27日(月)

- ① 2019年度のセミナー等の事業企画
- ② 会員増強

第3回 常議員会 2019年6月21日(金)

- ① 2019年度のセミナー等の事業企画と2018年度のセミナーの反省点
- ② 会員増強
- ③ 東海支部・中国支部との交流

第4回 常議員会 2019年8月29日(木)

- ① 11月22日(金)第2回セミナー開催決定
- ② 1月17日(金)開催京都府文化財保護課の文化財修理現場（萬福寺）見学・研修会の企画
- ③ 2020年2月実施予定第3回セミナー
- ④ 支部としての継続活動、テーマ、取組方法

第5回 常議員会 2019年9月20日(金)

- ① 2020年2月実施第3回セミナー
- ② 支部としての継続活動の主テーマとその取組方法 近・現代建造物（京都府下）の調査活動（案）
- ③ 9月24日(火)実施 京都美術工芸大学キャンパス見学会

第6回 常議員会 2019年10月18日(金)

- ① 2020年2月実施第3回セミナー講演と内容
- ② 支部としての継続活動の主テーマとその取組方法 近・現代建造物調査・評価
- ③ 黄檗山萬福寺修理現場見学会

第7回 常議員会 2019年11月25日(月)

- ① 2020年2月実施セミナー講演内容
- ② 支部としての継続活動の主テーマとその取組方法 近・現代建造物調査・評価
- ③ 黄檗山萬福寺修理現場見学会並びに座学（建築・庭園）終日研修会

第8回 常議員会 2020年3月5日(木)

- ① 黄檗山萬福寺修理現場見学研修会報告
- ② 今年度の事業振り返り
- ③ 笠原氏セミナーの延期
- ④ 来年度事業計画等

◎事業の執行状況

1. 講演会、見学会、勉強会の実施

① 令和元年第1回セミナー「河川工学からみた日本の洪水災害と課題」勉強会を7月12日(金)に実施。
講師 井上和也 参加者 7名。

② 「京都美術工芸大学キャンパス」見学会を9月24日(火)に実施。
講師 高田光雄 参加者 5名。（常議員メンバーの参加）

③ 令和元年度第2回セミナー「まちづくりと都市計画」勉強会を11月22日(金)に実施。
講師 吉田秀雄 参加者11名

④ 黄檗宗大本山萬福寺修理現場見学研修会を1月17日に実施。
講師 竹下弘展、田中智誠、齋藤忠一 参加者28名

2. 2級建築士受験講習会の開催

京都府建築士会共催「製図（基本・応用）」7月14日(日)～9月1日(日)
受講者：20名

① 2級受験講習会 製図（基本）2日間
講師：伏木道雄／伏木道雄建築設計事務所
京都府建築士会事業委員会委員

② 製図（応用）延べ6日間
講師：伏木道雄／伏木道雄建築設計事務所
京都府建築士会事業委員会委員

3. 工事請負契約約款事業

「民間（旧四会）連合協定工事請負契約約款契約書関係書式」及び「民間（旧四会）連合協定小規模建築物・設計施工一括用工事請負等契約書類（書式・約款）」、「民間（旧四会）連合協定リフォーム工事請負契約書類（書式・約款）」を販売した。

4. 建築関係団体との交流

隔月実施のセミナーを「JIA京都地域会」と共催。